



文学部 人文学科

国際文化コース

 FACULTY OF LITERATURE DEPARTMENT OF HUMANITIES
 INTERCULTURAL RELATIONS COURSE

学びのキーワード

国際文化

異文化交流

英語コミュニケーション

文化の比較研究

「文化」と「ことば」を軸に学びを追究。

国際文化コースのキーワードは「文化とことば」。カリキュラムの大きな柱は「多角的な文化研究」と「英語コミュニケーション」です。分野を問わずさまざまな学問的知見を用いて文化を考察し、少人数制のゼミナールを通じて、学生それぞれの興味に沿ったテーマを徹底的に追究します。また、多様な進路希望の実現を目指して、「聞く・読む・話す・書く」の4技能をオールラウンドに鍛え、国際社会での活躍に必要な英語力を養成。さらに、現代の教育のニーズにマッチした英語教員の育成にも力を入れています。

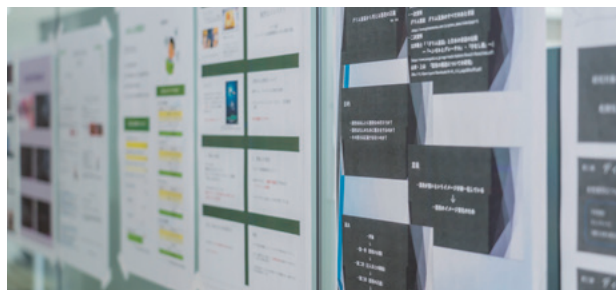
こんなキミに学んでほしい

- 文学、映画、音楽、絵画、アニメ、漫画などの幅広い文化を国際的な視点で考えたい人
- さまざまな国のファッションや食文化など、人々の生活に根ざした文化を探究したい人
- グローバル時代に活躍するための英語力、情報発信力、論理的文章力を鍛えたい人
- 多様化する現代社会が求める教育メソッドを備えた英語教員をめざしている人

TOPICS 学びの最前線



学びの集大成である卒業論文に向けて、1年生から論文執筆に取り組んでいます。国際文化コース1・2年生全員の論文を掲載する「国際文化論文集」は、学生企画委員が中心になって、テーマの選定、論文の相互チェック、編集まで、すべて学生たちの手で毎年刊行しています。主体的な活動は先輩から後輩に受け継がれ、2021年度は第12号の準備中です。



1年次の基礎ゼミナールの目標は「学びの楽しさ」を知ること。大学での学びに必要なルールや研究方法の基本を確認しながら、みずからテーマを見つけて実践的に探究します。それぞれの考察を発表し、意見交換を行い、論理的な思考を磨きます。その成果をポスターにまとめて掲示し、上級生からもアドヴァイスをもらい、学びの輪が広がります。

国際文化コースの魅力

国際的な視点で現代をとらえ、文化を読み解き、発信力を磨く

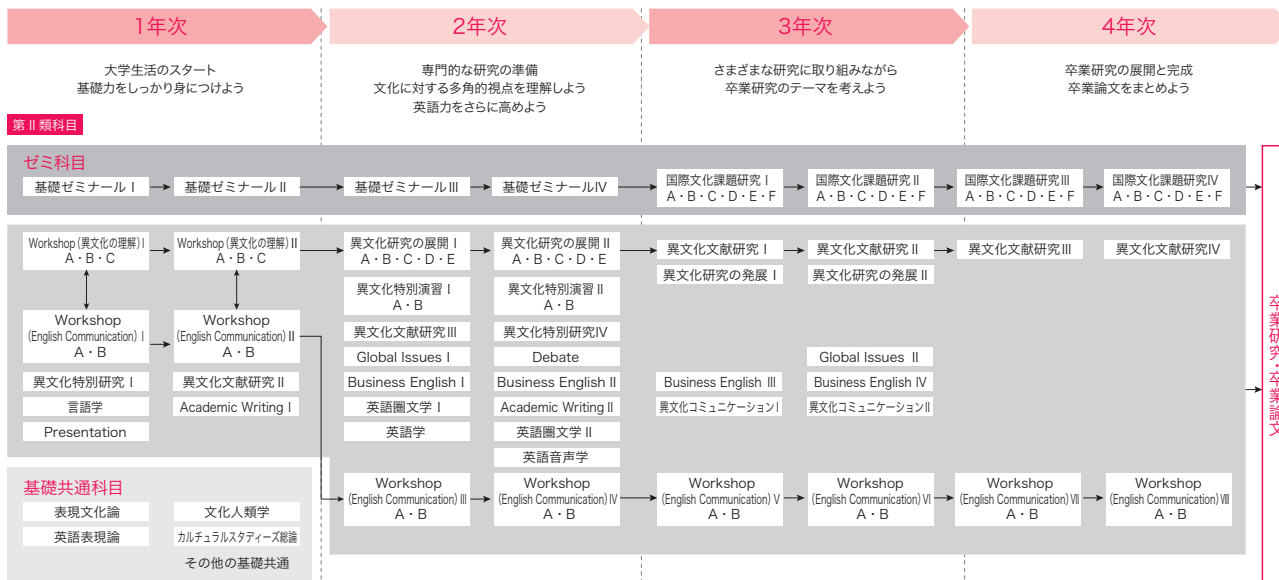
もっとも大切にしたいのは、学生自身の興味と関心です。学生一人ひとりが自分で選んだテーマで研究を完成させることができるように、1・2年生で基礎的な研究スキルを徹底して鍛え、3・4年生で自主的に研究を遂行することを目指します。国際的な視点で現代を多角的に考察することを共通の目標に、サブカルチャーを学ぶ学生も、異文化交流を調査する学生も、英語コミュニケーション力をプロフェッショナルに高めようとする学生もともに学ぶ空間は、刺激に満ちています。



人文学科 伊藤淑子 教授

4年間の学びの流れ

※2022年度開講予定科目



在学生に聞く 国際文化コースの学び



興味のあるテーマを
アカデミックに掘り下げる

山町 祐生さん

人文学科 国際文化コース 3年
東京都 岩倉高等学校 出身

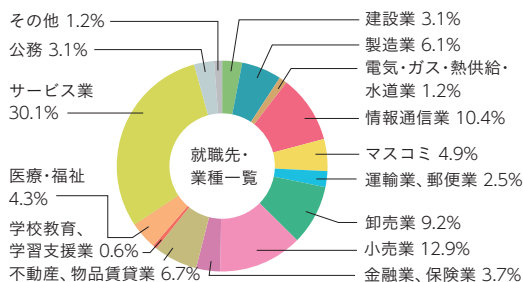
● 時間割の一例

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	図書館制度・経営論	情報サービス演習A	図書・図書館史			
3	国際文化課題研究 1-D(ゼミ)		児童サービス論	異文化研究の発展 1-A		
4		図書館概論		図書館情報技術論		
5						
6						

本コースの魅力は、「文化」を幅広くとらえ、伝統文化から衣食住、アニメ、音楽まで、あらゆるものが研究対象になること。1年次にはアニメ作品など、学生にとって馴染みやすいテーマを題材に作品の分析方法やまとめ方について学びました。これまでは消費者として楽しんでいた作品について、どのように課題を設定し、アカデミックに掘り下げていけばいいのかがわかりましたので、今後はアニメ作品の「聖地巡礼」について研究を進めていく予定です。学科の資料閲覧室に行くといつも先輩や先生がいて相談でき、スムーズに執筆を進めることができました。また、さまざまな分野の先生から学べるため、社会的な手法を研究に取り入れたり、宗教学の視点から対象を捉えたりと、多様な観点から研究を進めていける点も大正大学人文学科国際文化コースならではの魅力だと思います。

就職実績(過去3年間) ※旧カルチュラルスタディーズコースと英語表現・コミュニケーションコースの実績

アパホテル株式会社/イオンリテール株式会社/株式会社伊東園ホテルズ/株式会社エイブル/株式会社小田急プラネット/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/行田市教育委員会/空港ターミナルサービス株式会社/栗原市役所/警視庁/独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所/株式会社JTB商事/ソニー株式会社/ちふれホールディングス株式会社/株式会社帝国ホテル/株式会社西日本シティ銀行/日本郵便株式会社/株式会社ニトリ/防衛省自衛隊/HOYA株式会社/北海道警察本部/明治安田生命保険相互会社 (五十音順)



授業について詳しく知りたい人はこちら！



<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

教員情報はこちら！



<https://www.tais.ac.jp/chinavi/>

